

Dr. 和の町医者日記



「親の介護」シリーズ⑦

相模原市の障害者施設で、凄惨な事件が起こりました。お亡くなりになった方々のご冥福と被害に遭われた方々の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

元施設職員の犯行ですが、障害者施設や介護施設における虐待などの犯罪が増えています。そうはいつても、親の介護に疲れた子供世代は「いざとなったら施設に預けようか…」と迷っています。ただ、具体的に「どの施設か」と問われると、周りに情報が少ない。そのため介護施設の相談を日々受けています。

介護施設といっても、いくつかの種類があり、それぞれの特徴があります。まず、特別養護老人ホーム(特養)は費用が安いこともあり、とても人気があります。

「小規模多機能」は宿泊もできるし、同じスタッフが家に伺うこともできる「パッケージサービス」という優れ物。家庭的な施設と自宅を行ったり来たりでき、国も力を入れていますが、知名度はイマイチ。収益性も高くないので、参入業者も多くありません。

「小規模多機能」を利用するときは、担当のケアマネジャーさんを施設のケアマネジャーさんに変更する必要があります。一方、「お泊まりデイ」とは、自費で宿泊もできるデイサービスです。これも自宅と施設



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る。総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学、東京医科大学客員教授。58歳。

お泊まりデイサービス 通所介護利用者が、そのまま宿泊もできる介護サービス。泊まり費用には介護保険が適用されない。昨年4月に国のガイドラインが発表され、介護職員や看護師の人員基準、設備基準などが義務化された。

を行ったり来たりでき、柔軟な対応が最大の特徴。30泊31日のデイサービスで実質、そこに「入所」しているような人もいます。

デイサービス自体は介護保険ですが、宿泊代金は施設によって数百〜数千円とさまざまです。ここの長所は、なにか急な事情で「今日は夜も預かって！」となった場合、すぐに受け入れてくれるところです。特養のショートステイは予約制で、どこも混んでいるので急な受け入れが難しいことが多く、「お泊まりデイ」にお願いすることが年々増えてきました。

さて、子供世代が一番知りたいことは、その施設で本当に最期まで見てくれるのかどうか。結論から言うと、介護施設での看取りの実態はまさに千差万別です。全く看取らない「特養」もあれば、全例看取っている「小規模多機能」や「お泊まりデイ」もあります。

グループホームやサ高住も看取りの実態も実に多様です。一般的に、施設での看取りはトツプの考えに大きく左右されるため、パンフレットやホームページで施設長の方針をよく調べておきましょう。たとえ「看取りもします」と書いてあっても、昨年の看取り人数を聞いてみましょう。

胃ろうなどの医療依存度が高い人の受け入れも施設によって違います。後悔しないためにも、普段から介護施設の基礎知識を蓄えておきましょう。

小規模多機能やお泊まりデイは？

看取りのできる施設

H28. 8. 2